

「福川地域協育ネット」の取組について

【周南市 福川中学校区】

地域の概要

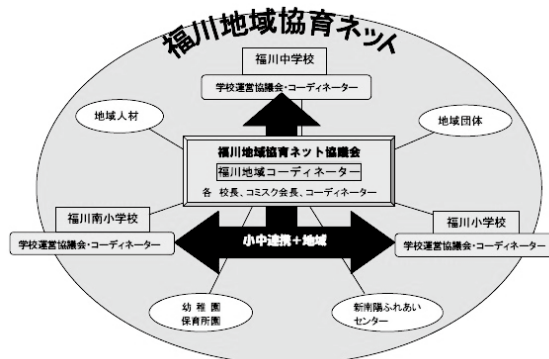
福川中学校区は、旧新南陽市福川地区を中心とし、かつては旧山陽道沿いの宿場町として栄え、商工業・農業・漁業に従事する家庭がほぼ同じ割合でしたが、瀬戸内工業地域の一角として、工業関係企業の進出が進むとともに工場に勤める家庭が急増しました。校区内に新興住宅地が開発され、人口も増加した反面、旧市街の高齢化が進み、児童生徒数が減少しています。地域の教育への関心は高く、PTA活動も盛んです。

人口	9,392人	
世帯数	4,023世帯	
対象校及び児童生徒数	福川中学校	259人
	福川小学校	228人
	福川南小学校	236人

組織の内容

福川中学校区では、周南市全小・中学校にコミュニティ・スクールが導入された平成24年度に、福川中学校・福川小学校・福川南小学校の3校による「福川地域学校運営協議会」を設立しました。平成26年度から「福川地域協育ネット協議会」として、各校の学校運営協議会長、コーディネーター、校長、地域全体のコーディネーターと市教育委員会職員2名を合わせた12名を構成メンバーとし、中学校区全体で取り組む活動について協議してきました。2年目の今年度は、前年度の反省から構成メンバーに各校の教頭と保護者代表を加え、学期に1回協議会を開催しているところです。

協議会では地域コーディネーターの果たす役割が大きく、全体の調整役として、会議の日程調整や進行、学校間の連絡、小学校の行事の補助をする中学生ボランティアの調整などを行うほか、「地域協育ネット」の取組について「地域協育ネットだより」を発行し、学校はもとより地域全体に周知、広報する役目を担っています。



特色・重点的な取組

学期ごとに開催する協議会では、「福川を愛し、心豊かで、生き生きと活動する子ども」をめざして地域コーディネーターの進行により、取組の具体策について協議しています。

昨年度に引き続き、福川中学校・福川小学校・福川南小学校の3校共通の取組として、「あいさつ運動」と「清掃活動」を、連携の範囲を広げながら継続することにし、新しく「ノーテレビ・ノーゲームデー」についても協議していくこととなりました。

○ あいさつ運動

学期始めの3日間～1週間程度、児童生徒、教職員、保護者、地域の方が協働して、通学路、自宅前、各校の校門等で実施しました。

○ クリーン大作戦

10月下旬の1週間を「クリーン週間」とし、保護者・自治会等に呼びかけて一緒に清掃活動を実施しました。小学校はクリーン登校及び下校、中学校は地域清掃ボランティアとして取り組みました。（地域清掃と地域学習を兼ねた若山城登山道の清掃活動を、3月に実施する予定です。）

○ 「ノーテレビ・ノーゲームデー」についての協議

主な活動の紹介

○ あいさつ運動



福川中学校



福川小学校



福川南小学校

○ クリーン大作戦



福川中学校



福川小学校



福川南小学校

○ 中学生ボランティア



地域コーディネーターの呼びかけで集まった福川中学校の生徒が福川小学校、福川南小学校のバザー等において、ゲームなどを受け持ち、行事に参加協力しています。

成果と課題

〈成果〉今年度は、構成メンバーを拡大したことで、より多くの方に周知することができました。昨年度に引き続き地域全体で取り組む活動を二つに絞りました。また、同じテーマの活動を3校それぞれで実施することで、それぞれの裁量で工夫しながら活動することができました。小学校では、登校時だけでなく下校時にもクリーン作戦を実践し、回数を増やしたほか、地域の方々や保護者の参加も増えて、各校の取組が充実しています。

〈課題〉これらの活動を、地域全体にまで広げていくことが依然として課題であると感じています。また、新しく「ノーテレビ・ノーゲームデー」について取組を検討し、1小学校が先行して取り組みました。地域全体の取組に広げていくために、次年度は方向性を定め、統一性のある活動へ発展させていく必要があります。

今後の取組

今後は、「ノーテレビ・ノーゲームデー」についても活動を具体化し、3校で取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、地域コーディネーターや各校のコーディネーター等の役割をさらに明確にするとともに、各校が事前に企画会議を行うなど、具体的な協議がしやすい体制づくりも進めていきたいと考えています。